

平成25年度各会計決算

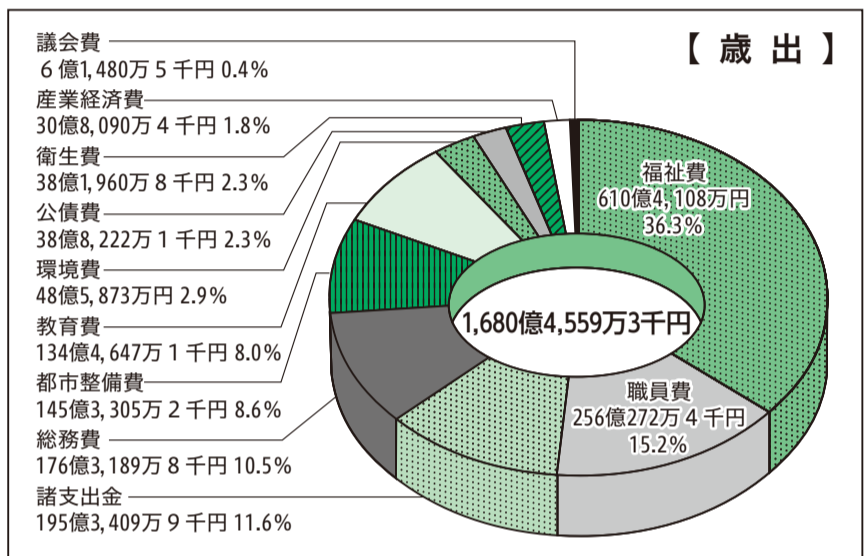
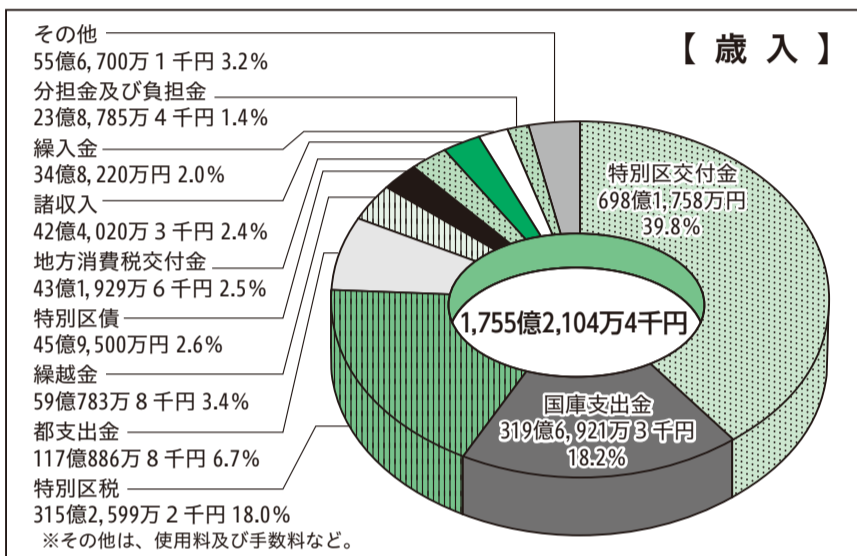
	歳入決算額(円)	対前年度 伸び率	歳出決算額(円)	対前年度 伸び率	歳入歳出 差引額(円)
一般会計	175,521,044,259	-3.0%	168,045,592,740	-4.0%	7,475,451,519
国民健康保険事業特別会計	51,820,219,356	-0.5%	51,353,234,296	-0.1%	466,985,060
後期高齢者医療事業特別会計	8,061,468,964	0.9%	8,061,468,964	0.9%	0
介護保険事業特別会計	30,189,910,715	6.6%	29,843,813,375	7.1%	346,097,340
用地特別会計	5,405,689,481	-40.8%	5,405,689,481	-40.8%	0
駐車場事業特別会計	721,098,350	8.5%	720,161,127	8.7%	937,223
合計	271,719,431,125	-2.7%	263,429,959,983	-3.2%	8,289,471,142

9月17日の本会議において、平成25年度各会計歳入歳出決算6件を審査するため、37名の議員で構成する決算審査特別委員会が設置されました。決算の審査は、第1〜4までの各分科会において詳細に行われ、その後、決算審査特別委員会において、各会計決算についての採決を行い、いずれも認定すべきものと決定し、10月17日の本会議において認定されました。

決算審査特別委員会

平成25年度決算を審査

一般会計



※千円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しません。 ※比率は小数点第2位を四捨五入して表示しているため、合計と内訳の計が一致しません。

決算審査特別委員会 委員長報告(要旨)

決算審査特別委員会は、平成25年度各会計歳入歳出決算について審査を行うために、9月17日の本会議において、37名の議員を構成する委員会として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計歳入歳出決算のうち、議会費、総務費、産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費及び公債費以下と各特別会計歳入歳出決算を所管しました。

10月6日から9日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、10月14日に、当委員会は、各分科会長からの審査経過及び各会派からの意見の報告を踏まえ、各会計歳入歳出決算について採決を行いました。

採決の結果につきましては、「一般会計歳入歳出決算」、「国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」、「駐車場事業特別会計歳入歳出決算」については、いずれも賛成多数で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

また、「後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算」、「介護保険事業特別会計歳入歳出決算」、「用地特別会計歳入歳出決算」については、いずれも全会一致で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

平成25年度決算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成25年度決算に対する各会派の意見を掲載しました。

自由民主党議員団

夢と誇りあるふるさと葛飾へさらなる施策の充実を

平成25年度は安倍内閣による経済施策が一定の成果を見た一方で、景気回復の実感があまねく行き渡るまでには至らず、政府によるなお一層の大胆な策を促すものであります。さて、本区においては平成25年度からスタートした葛飾区基本計画に掲げられた施策を推進していくために、これまで以上に効果的・効率的な行政運営と安定した財政基盤の確立が求められます。決算審査特別委員会の審査過程においてわが会派が行った質疑や提案が区民サービスに活かされ、区長が提唱する「夢と誇りあるふるさと葛飾」が実現するよう、今後とも区長と協力していきま

す。今期の決算については概ね適正に執行されたものと認めますが、今後の行政運営に資するため、わが会派の意見・要望を以下の通り申し添えます。

総務費 病院誘致については、医療機関と緊密に連携し、区内全体の医療環境の向上と、区民への丁寧な説明を求めます。大学は本区にとり貴重な財産であり、大学との連携による様々な事業のより一層の充実を求めます。情報連絡体制整備経費の予算が執行されなかったが、災害対策の観点から改善の余地があり、早急な対応を求めます。

産業経済費 フィルムコミッションについては、昨今様々な撮影が本区において行われていることから、区内外の関心をより喚起するような工夫を求めます。キャラクターを用いた観光振興については、既存の有名キャラクターだけでなく、官民一体で新しいキャラクターを育てる点も重視するよう求めます。

福祉費 日常生活用具給付は、予算と決算との差異が大きいため、予算編成時に十分検討するよう求めます。元区立高齢者福祉施設については、改築

時期等も勘案し、利用者のサービス低下にならないよう事業者と調整を行うことを求めます。プラチナ・フィットネス事業については、さらなる充実を求めます。シニア活動支援センターの民間活力の活用を求めます。子ども・子育て会議の運営に当たっては、所管担当者の出席を求めます。各児童館はそれぞれに特色ある運営を求めます。

衛生費 新小岩保健センター整備については、地域住民に引き続き丁寧な説明を求めます。保健センターの運営については、窓口対応時間延長や、訪問用電動自転車の導入などを求めます。自殺うつ対策に全庁挙げて取り組むことを強く求めます。

環境費 「水と緑の再生可能エネルギー」の取り組みについて、本区の特徴を活かした積極的な展開を求めます。区民の環境に関する意識をさらに啓発していく取り組みを期待します。

都市整備費 高砂団地の建て替えで創出される用地は、貴重な財産として積極的に都と協議していくよう求めます。区民向け施設や道路、橋梁だけでなく、今後は公営住宅についても、適切な維持管理を行うよう求めます。都市計画道路補助138号線については、確実に事業化されることを強く求めます。

教育費 スクールソーシャルワーカー等専門員の人材確保のため必要な措置を求めます。学力向上については、他の自治体の取り組みを研究し、良い点を積極的に取り入れることを求めます。葛飾学力伸びプランについては、学力上位の子どもたちにも伸展が図れるよう工夫を求めます。旧学校校舎については円滑な転用を求めます。ICT活用授業推進のために教員研修の充実を求めます。区立幼稚園教育は養護教諭の巡回配置を求めます。「はたちのつどい」は本区にゆかりのある人物を招待することを希望します。

各特別会計についても、適切に執行されているものと認めます。

